

2022 年 4 月 17 日 イースター礼拝

インターネットの礼拝映像配信は 9 時より。11 時から録画を視聴できます。

後 奏 感謝祈祷	報告 入会式	祝 入会式	頌 栄	献 金	会 衆賛美	洗 礼式	説 教	聖 書朗読	使 徒信条	礼 拝祈禱	交 読	主 の祈り	会 衆賛美	会 衆賛美	「私はあなたが行く道であなたを教え あなたを論(さと)そう。あなたに目 を留め助言を与えよう」アーメン	招 詞	前 奏	4 月 17 日 イースター礼拝
					聖歌 127 (1～3 節)		イエス様の復活 荻野泰弘牧師	マタイの福音書 28 章 1～15 節			詩篇 24 篇 1～10 節		聖歌 746 (1～3 節)	大いなる方に (1 回)		詩篇 32 章 8 節		

■聖歌 746 「イースタの朝には」(1～3 節)

- ① イースターの朝には 白百合をいけましょう
イエス様がいのちに 帰られた 良い日です

★ ああ 白百合！ 主イエスが よみがえった良い日を
記念して かおるのか イースターの良い日に

- ② ああ 冬じゅう 地面の なかにおった 白百合
目に見えぬいのちが 春を待っておったのです

- ③ 神様の良い子らは 死んでもまた生きます
葬られていのちに 帰られた主のように

■「大いなる方に」(1 回)

大いなる方に 感謝ささげます 御子キリストの 愛のゆえに
聖なる方に 感謝ささげます 御子キリストの 愛のゆえに
今 弱い者よ 叫べ 勇士だと 勝利の主が ともにおられる
今 貧しい者よ 叫べ富んでいると 恵みの主が ともにおられる
感謝します

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名^{みな}をあがめさせたまえ。御国^{みくに}をきたらせたまえ。御心^{みこころ}の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用^{にちよう}の糧^{かて}を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを こころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇 24 篇 1～10 節

- 1 地とそこに満ちているもの
世界とその中に住んでいるもの
それは主のもの。
- 2 主が 海に地の基を据え
川の上に それを堅く立てられたからだ。
- 3 だれが 主の山に登り得るのか。
だれが 聖なる御前に立てるのか。
- 4 手がきよく 心の澄んだ人
そのたましいをむなしいものに向けず
偽りの誓いをしない人。
- 5 その人は 主から祝福を受け
自分の救いの神から義を受ける。
- 6 これこそヤコブの一族。
神を求める者たち
あなたの御顔を慕い求める人々である。
- 7 門よ おまえたちの頭を上げよ。
永遠の戸よ 上がれ。
栄光の王が入って来られる。
- 8 栄光の王とは だれか。
強く 力ある主。
戦いに力ある主。
- 9 門よ おまえたちの頭を上げよ。
永遠の戸よ 上がれ。
栄光の王が入って来られる。
- 10 栄光の王 それはだれか。
万軍の主 この方こそ栄光の王。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 マタイの福音書 28章1～15節

- 1 さて、安息日が終わって週の初めの日の明け方、マグダラのマリアともう一人のマリアが墓を見に行った。
- 2 すると見よ、大きな地震が起こった。主の使いが天から降りて来て石をわきに転がし、その上に座ったからである。
- 3 その姿は稲妻のようで、衣は雪のように白かった。
- 4 その恐ろしさに番兵たちは震え上がり、死人のようになった。
- 5 御使いは女たちに言った。「あなたがたは、恐れることはありません。十字架につけられたイエスを捜しているのは分かっています。
- 6 ここにはおられません。前から言っておられたとおり、よみがえられたのです。さあ、納められていた場所を見なさい。
- 7 そして、急いで行って弟子たちに伝えなさい。『イエスは死人の中からよみがえられました。そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれます。そこで出会えます』と。いいですか、私は確かにあなたがたに伝えました。」
- 8 彼女たちは恐ろしくはあったが大いに喜んで、急いで墓から立ち去り、弟子たちに知らせようと走って行った。
- 9 すると見よ、イエスが「おはよう」と言って彼女たちの前に現れた。彼女たちは近寄ってその足を抱き、イエスを拝した。
- 10 イエスは言われた。「恐れることはありません。行って、わたしの兄弟たちに、ガリラヤに行くように言いなさい。そこでわたしに会えます。」
- 11 彼女たちが行き着かないうちに、番兵たちが何人か都に戻って、起こったことをすべて祭司長たちに報告した。
- 12 そこで祭司長たちは長老たちとともに集まって協議し、兵士たちに多額の金を与えて、
- 13 こう言った。『弟子たちが夜やって来て、われわれが眠っている間にイエスを盗んで行った』と言いなさい。
- 14 もしこのことが総督の耳に入っても、私たちがうまく説得して、あなたがたには心配をかけないようにするから。」
- 15 そこで、彼らは金をもらって、言われたとおりにした。それで、この話は今日までユダヤ人の間に広まっている。

■聖歌 1 2 7 「墓の中に」(1～3節)

①墓のなかに いと低く 葬られたり ああわが主！

★黄泉より帰り 死と悪魔に勝ちし 君こそ 勝利の主なれ
君こそ まことの主なれ ほめよ イエスを われらの神を

②番し続けし 兵の努力 むなしかりき ああわが主！

③封印かたき 門やぶり 出でたまえり ああわが主

■頌栄 聖歌 3 7 7 「すべてのめぐみの」

すべての恵みの もとなる御神を
造られしものよ いざたたえまつれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心を一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにありますように アーメン」